

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)

【公開番号】特開 2023-70712(P2023-70712A)
【公開日】令和 5 年 5 月 22 日(2023.5.22)
【年通号数】公開公報(特許)2023-093
【出願番号】特願 2021-182977(P2021-182977)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示にもとづいて前記有利状態に制御される
ことを判定可能な判定手段と、
前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に特定演出の
実行を開始可能な演出実行手段と、を備え、
前記演出実行手段は、

30

前記特定演出の実行パターンとして、前記判定の対象となった可変表示以後に前記特定
演出の演出態様を継承する第 1 パターンと、前記判定の対象となった可変表示以後に前
記特定演出の演出態様を継承しない第 2 パターンと、を有し、

前記第 2 パターンにて前記特定演出の実行を開始した後に所定演出が実行された場合
に、該特定演出を前記第 1 パターンに切り替えて実行可能であり、

前記第 2 パターンにて前記特定演出の実行を開始した後に前記第 1 パターンに切り替え
ない場合に、前記特定演出を前記第 2 パターンから前記第 1 パターンに切り替える場合と
共通のタイミングにて前記所定演出を実行可能であり、

可変表示に対応する対応表示を表示可能な対応表示手段と、

前記対応表示の表示態様を、第 1 態様から第 2 態様に变化させる变化演出を実行可能な
变化演出実行手段と、

前記变化演出の実行が開始された以後に、前記第 1 態様に対応した履歴示唆演出を実行
可能な履歴示唆演出実行手段と、をさらに備え、

40

前記变化演出実行手段は、前記变化演出として第 1 变化演出と該第 1 变化演出とは異なる
第 2 变化演出とを実行可能であり、

前記履歴示唆演出実行手段は、前記变化演出実行手段によって前記第 1 变化演出が実行
される場合と前記第 2 变化演出が実行される場合のいずれであっても前記履歴示唆演出を
実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示にもとづいて前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段と、

前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に特定演出の実行を開始可能な演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記特定演出の実行パターンとして、前記判定の対象となった可変表示以後に前記特定演出の演出態様を継承する第1パターンと、前記判定の対象となった可変表示以後に前記特定演出の演出態様を継承しない第2パターンと、を有し、

前記第2パターンにて前記特定演出の実行を開始した後に所定演出が実行された場合に、該特定演出を前記第1パターンに切り替えて実行可能であり、

前記第2パターンにて前記特定演出の実行を開始した後に前記第1パターンに切り替えない場合に、前記特定演出を前記第2パターンから前記第1パターンに切り替える場合と共通のタイミングにて前記所定演出を実行可能であり、

可変表示に対応する対応表示を表示可能な対応表示手段と、

前記対応表示の表示態様を、第1態様から第2態様に变化させる变化演出を実行可能な变化演出実行手段と、

前記变化演出の実行が開始された以後に、前記第1態様に対応した履歴示唆演出を実行可能な履歴示唆演出実行手段と、をさらに備え、

前記变化演出実行手段は、前記变化演出として第1变化演出と該第1变化演出とは異なる第2变化演出とを実行可能であり、

前記履歴示唆演出実行手段は、前記变化演出実行手段によって前記第1变化演出が実行される場合と前記第2变化演出が実行される場合のいずれであっても前記履歴示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

他の発明に係る遊技機は、

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示が前記有利状態に制御されるか否かを、判定可能な判定手段と、

前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に特定演出の実行を開始可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記特定演出の実行パターンとして、前記判定の対象となった可変表示以後に前記特定演出の演出態様を継承する第1パターンと、前記判定の対象となった可変表示以後に前記特定演出の演出態様を継承しない第2パターンと、を有し、

前記第2パターンにて前記特定演出を実行しているときに、前記第1パターンに切り替えられることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段をさらに備え、

前記特定演出実行手段は、前記第2パターンにて前記特定演出の実行を開始した後に前記示唆演出が実行されて前記第1パターンに切り替えられない場合に、前記第2パターンにて前記特定演出を継続して実行可能である、

ことを特徴とする。

このような構成によれば、所定演出と特定演出を適切に実行して、遊技興趣を向上させることができる。

10

20

30

40